

特別企画

子どものころ 憧れた仕事

会員から、子どものころに憧れた仕事を大募集。憧れの姿に大変身！？



With コロナ 「コロナ社会におけるカウンセラーの対応と課題」
カウンセラー座談会 ～就職支援・企業内・SNS～

大角 浩樹さん／伊藤 美季さん／金城 匠さん

With コロナ

コロナ社会における カウンセラーの対応と課題

カウンセラー座談会

～就職支援・企業内・SNS～

2020年春に始まったコロナ禍。2年以上の月日が過ぎ去り、人々の暮らしは一変しました。私たちカウンセラーの世界でも同様に各職場で様々な対応に迫られ変化したこの2年間ではないかと思えます。

そこで、今回は各分野で活躍しているカウンセラーの方々に、コロナ禍での対応やカウンセリングの課題について伺いました。With コロナ時代の参考にしていただきたいと思います。

(司会：会員部長 青木幸司)



大角 浩樹さん（需給調整機関での新卒者就職支援〈神奈川県支部〉）
私は、公的な需給調整機関で新卒者（未就職卒業生・第二新卒を含む）の就職支援業務をしており、最後のセーフティネットの役割を担っていることもあり、様々な事情を抱えた方が相談に訪れます。コロナ禍の状況になり「自己分析の方法がわからない」「企業研究の方法がわからない」

青木 お忙しいところオンラインでの参加ありがとうございます。コロナ感染が完全に終息したわけではありませんが、まず、この2年間のカウンセラー業務の変化について伺いたいと思います。公的な需給調整機関で新卒者の相談業務をされている大角さんからお願います。

コロナ禍を反映した相談内容



大角 浩樹さん
需給調整機関での新卒者就職支援
／神奈川県支部

「対面による模擬面接の希望」といった相談内容が多くなったように思っています。また、就職活動が滞っていることを心配されている保護者の方からのご相談がとても多くなっています。

青木 コロナ禍の中、学校もオンライン授業になり子供たちも家にいる時間が増え、親としても状況がより鮮明になってきているからなのではないか。大角さん、相談内容の対応策はどの様にされてきましたか。

大角 自尊心や自己効力感による内発的動機づけを、意思決定への支援へ繋げることが心がけて対応しておりました。相談者の多くは自己理解でつまづいていることが多く、自己分析が不十分なことでライフデザインにまで落とし込めていないことで職業や企業理解がわからなくなっている傾向があります。就職ガイダンスで実施しているグループワークを個人のワークへアレンジして対応したり、伝え方を工夫したり、事例を紹介したり、段階に合わせた模擬面接をしたり、アセスメントを効果的に活用するなどメンタル面のケアを含めてクライアントが抱える課題に応じた対応をしています。

司会 ・・では次に企業内でカウンセラーをしている伊藤さんお願いします。



伊藤 美季さん
企業内カウンセラー／神奈川支部

伊藤 美季さん（企業内カウンセラー／神奈川支部）

人間関係の相談が多いというのはこれまでとは変わりませんが、コロナ禍入社の特に入社1〜2年目の社員が「リーダーと話があまりできないため仕事が覚えられない」、「テレワーク業務がほとんどで、組織にどのような人がいるかわからず、どうコミュニケーションを取っていいかわからない」など、もしかして対面していれば解

決するかもしれないような相談内容が多くなりました。

青木 上司の方はどう捉えていますか。また、相談対応はどうされていますか。

伊藤 上司もテレワークが多くなり、オンライン会議で顔出ししない部下をどう理解するか難しいとおっしゃる方もいます。対応としては、現場については、OJTリーダー等の研修の際に部下の悩みの具体例を挙げて、どのように関わるか同じ仲間と考えてもらったりしますが、相談者には相手を理解するために自ら積極的に関わってみて、どんな変化があったのか体験から気づきを得てもらおうよう対応しています。それができない人には上司に積極的に声掛けをしてもらうよう働きかけています。

青木 上司も部下も仕事環境が一変し、この組織も対応に追われていましたね。次に関西支部でSNSを用いてカウンセラーをされている金城さんお願いします。

金城 匠さん（SNSカウンセラー／関西支部）

コロナ禍の影響として、働く人の休業や失業などを背景とした、生活や暮らしに関する相談が増えてきていると感じます。今後の生活について漠然と不安を感じるという、こころの相談から今まさにライフライン（電気、ガス、水道）が止まり、家賃を払えず家を失う恐れのあるなどといった差し迫った相談まで様々です。コロナ禍による社会情勢の変化が相談内容へ如実に反映されていることがわかります。

青木 金城さん、それらの相談への対応はどのようにされていますか。

金城 経済的リスクのある相談は、具体的な支援や介入が必要となる場合があります。切迫した状況では、傾聴のみでは問題解決に迫ることは難しいでしょう。

私の活動領域である「SNS相談（チャットによる相談）」では、チームでの対応が原則です。アセスメントを行うつつSV（現場責任者）や他の相談員、他職種と連携して相談を進めていきます。また、必要に応じて社会資源の情報提供などを行うソーシャルワーク的なかかわりも意識しています。

交通費、移動時間がかからないオンライン面接

青木 SNS相談ですとクライアントが多岐にわたり、個々の対応も多方面の連携が必要になりますね。

コロナ禍になりカウンセリングで一番変わったところは、顔を直接合わせる対面方式からリモートによる面談が大幅に増えたことではないでしょうか。このカウンセリングのオンライン化について良い点を皆さんに挙げてもらいたいと思います。

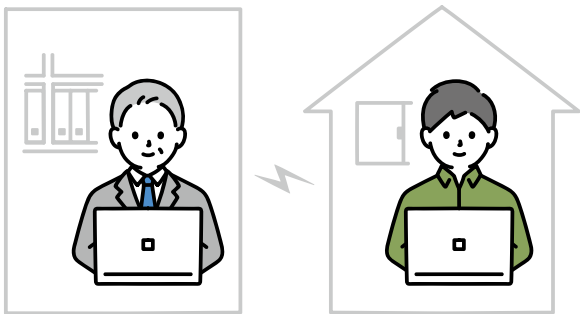
金城 場所にとらわれないという点がオンラインの特徴です。また、SNS相談では匿名性を保ちつつ文字での相談が可能です。このようなカウンセリングへ繋がる選択肢の広がりには評価できます。

伊藤 メリットとしては出張しなくともすぐ時間に合わせて話ができること、テレワーク中で対応できること、テレワーク慣れしているので、オンラインの面談には全く抵抗がないようです。



金城 匠さん
SNS カウンセラー／関西支部

大角 私は、事業所における新卒採用の支援を業務にしていることもあり、面接のオンライン化が定着しつつあると感じています。オ



オンライン面接の良い点に関しては、やはり交通費や移動時間がかからないこと、感染リスクを軽減できること、スケジュール調整がしやすいことになるのではないのでしょうか。また、会社説明やちょっとしたお話をするような面談の幅が広がられることもあげられます。

青木 皆さん、物理的移動がないことやその時間・コストの節約がメリットの共通点ですね。では、オンライン化の課題はありますか。

大角 通信機器やネットトラブルで面接が中断されるリスクがある中で、オンラインでは声の抑揚やコミュニケーションが取りづらいこともあることから面接に対応出来る面接官としてのスキルの向上と育成は事業所規模の大小に関係なく課題となっているように思っています。

伊藤 オンラインだとクライアントの全身が見えなかったり、空気感を感じること、距離感を調整することに難しさも感じ、十分なクライアント理解にはまだまだ課題があると感じます。



金城 オンラインカウンセリングにかかわる研修や訓練、カウンセラーの育成は業界としてまだまだ発展途上です。各団体が蓄積した経験を共有し、オンラインにおいても安定して相談者へ質の高いカウンセリングを提供できるような指針作りが必要であると感じます。



コロナで多様化するカウンセリングに対応

青木 オンラインカウンセリングの共通課題も見えてきましたね。オンラインカウンセリング指針の構築があげられますね。クライアントが学生・社会人、相談内容がキャリア・メンタルの違いがあっても、共通したオンラインカウンセリングの共通指針というものがあるといいですね。

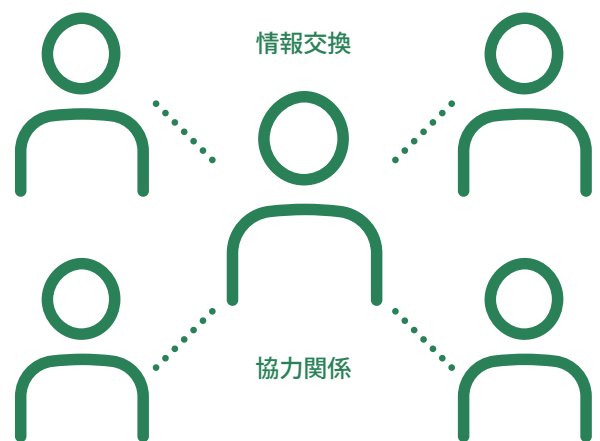
最後のテーマになりますが、今後の「Withコロナ」社会におけるカウンセラーの「スタンス」について、ご意見を伺いたいと思います。

金城 従来の対面カウンセリングだけではなく、電話、ビデオ、SNSなどコロナ禍も相まってカウンセリングの提供方法は大変多様になりつつあります。それはつまり、カウンセラーとしてそれぞれの特徴に合わ

せた研修や訓練、経験が必要になるということでもあります。私はSNS相談員としてカウンセリング活動をはじめました。SNS相談員として相談者の益となるような技能をあげつつ、皆さんと同じ「産業カウンセラー」の一人として、より一層成長していきたいと考えています。

伊藤 オンラインの良さを活かしつつ、課題はしっかり把握した上でオンラインカウンセリングを積極的に利用してもらえるように働きかけていきたいですね。カウンセラー自身も日々進歩するIT技術に取り残されないよう研鑽しないといけないなど思っています。まん延防止等重点措置が解かれた現在、徐々に対面カウンセリングも復活しており、直接お会いできることにホッとしている自分があります。(笑)

大角 キャリア形成の6つのステップを大切に、技法を用いるだけでなく、より掘り下げる質問や考え方、気持ちを明確化するコミュニケーションに努めていくこと。適切な情報提供や課題の設定・伝え方などが出来るように最新の情報収集を行うだけでなく、今職場で起きている生の声を把握するために外部リソースの拡充に努めること。そして今まで以上に多様化した相談者の支援においては、行政その他の専門機関や専門家との様々なネットワークが重要であり、関係機関や関係者と日頃から情報交換を行い、協力関係を築いて行くことはとても重要だと



思っています。

青木 コロナ禍になり、カウンセリングのオンライン化でわかったこと、まだ不十分などところを踏まえて、皆さんに今後のカウンセラーの「スタンス」を語っていただきました。IT技術の習得はもちろん、オンラインカウンセリングで見えてきた課題を一つ一つ解決して、まだまだ続くコロナ禍の中で、質の高いカウンセラーを目指していきたいと思います。本日は皆さんお忙しい中、オンライン座談会お疲れさまでした。

運営幹部紹介

養成講座部

部長 **牛丸 尚美**

講師・カウンセラー推薦委員会

委員長 **呉 葉子**

担当されている事業部でどのようなことをされていますか。

牛丸 養成講座部では、産業カウンセラー養成講座のコース企画、体験学習（実習）の実施・運営を行っています。2022年4月末現在、神奈川支部の養成講座実技指導者は37名です。2020年度、2021年度と新型コロナウイルス対策にかなりのエネルギーを注ぎましたが、受講者の皆様のご理解の下、実技指導者一丸となって対応しました。講座を完遂でき感謝しています。

呉 会員の方々が事業推進受託事業にエン

トリーし、活躍していただくように、登録審査を行っています。すでに登録をされている方々の3年ごとの登録更新審査。登録講師・カウンセラー合同研修の企画・運営。産業カウンセラーとしての見識と、豊富な経験を持った委員方々の意見で運営されている、支部長直轄の委員会です。

なぜ、産業カウンセラーの資格を取ろうと思われたのか、そのきっかけについてお聞かせください。

牛丸 大学は心理学専攻でしたが、全く違う分野の企業に就職しました。組織の一員として働く中で、働く人とその組織がとも

に幸せになるために自分ができることはなにかなど思いました。心理学に回帰したかったのかも。でも今振り返ると、諸々迷いが生じていた自分を見つめ直したい気持ちがあったのかなとも思いますね。

呉 卒業してから時間がたっていたので大学で学びなおし、ボランティアの電話相談員として経験を積んでいたのですが、もつと実務的な学びをしたかった。通信制大学院で、学科の単位は取得できても、実習は平日だったので仕事との両立は難しかったです。通学は日曜日、隣接領域の単位があると学科免除と書かれた募集のパンフレットに魅力を感じました。

プライベートでの過ごし方についてお聞かせください。

牛丸 最近は何にかと忙しくて純粋なプライベートの時間がないような…。理想は、（児童書の）読書、（陽の高いうちに入る）お風呂（独りお籠もりの）チェロ練習（展示よりも建物とその空間に惹かれる）美術館巡り。うーん、どれもソロ活だと今気づきました。

呉 季節の移り変わりを感じていたい。草木、空、雲、風。生活に取り入れて、料理

が好きなので、食材、器に少し気を配る。魚、野菜はその季節にしか出会わない。昨年、小さな白い花が実を結び育っていく庭のピンプン玉くらいの青い酢橘、68個も収穫。桜のころはシューって皮をむいて、露を煮ます。作ると食べさせたくなるので、ワーキングマザーで忙しくしている娘の所で伝説の家政婦シマさんを気取って総菜作り置き。読書はいろんな感じ方の書かれた随筆、好きです。

最後に支部会員に向けてのメッセージをお願いします。

牛丸 養成講座を修了された方には「養成講座での体験を踏み台に、新しい場や機会に自らチャレンジし続けて下さい」、また受講されていない方には「真の傾聴力を身につけると自分の世界（内界も外界も）が広がります。お待ちしております」。

呉 世界が大きく変わるとき、不易流行（注）しなやかに、本質は変えずに新境地にチャレンジ。

（注）芭蕉一門の俳諧の理念の一つ。変わることにない部分を忘れずに、変化を続けていること。新しいものを取り入れていくことこそが永遠に変わらないことである、とも。

第5回 キャリア・カウンセラー部

主な活動内容

キャリアカウンセラーの育成、研鑽、活動に向けた支援を行っています。

キャリア・カウンセラー部（以下、CC部と略）では、キャリアカウンセラーの育成とキャリアカウンセラーとしての研鑽や能力向上の支援、様々な分野・領域でのキャリアカウンセラーとしての活動や活躍を支援しています。

具体的な活動内容

- ①キャリアコンサルタント養成講習を年3回開催（2021年度179人受講）
- ②国家資格取得支援のために、ロープレ道場や各種試験対策講座の開催
- ③資格取得者対象に、更新講習（2021年度181回開催・2867人）
- ④資格取得後の支援として、CC養成講習修了者の集い・交流会（年3回開催）やCC実践会（年6回開催）など、実践の場の開催やネットワーク形成の支援などに取り組んでいます。

キャリアカウンセリングは、産業カウンセリングの3領域のうちの1領域です。本来、産業カウンセラーの1領域だったキャリア支援の領域が、重要性を増してきたことによって、国家資格化がされたものと考えます。

例えば、第4次産業革命といわれる大波が押し寄せる影響で、今までの仕事の約50%が無くなると予測されています。20年、30年と慣れ親しんだ仕事は、「1年後に無くなる」と言われたとしたら、多くの人は困惑し、悲嘆に暮れ、絶望してしまうかも知れません。そのような働く人々に寄り添い、傾聴し、困難を乗り越える支援をするのがキャリアカウンセラーだと思います。

近い将来、大きな社会変化に対応して、「働く人と組織を支える」ことができる、高いスキルと志を持ったキャリアカウンセラーの仲間を作りたいと考え、活動を進めています。

幅広い年代の方々が活動に参加されています

メンバーは29人（うち、一部の講師・演習講師8名含む）20代～70代までの幅広いメンバーがいますが、中心は50代～60代が多く、男女比では、女性17人・男性12人というメンバー構成です。

ほとんどの方は、仕事をしながら、土日に活動している方が多いです。フリーランスの方や主婦の方もおられ、平日のCC養成講習や更新講習などのスタッフをされています。

CC部のスタッフミーティングは、月1回、第一水曜日の19時30分～21時まで、オンライン開催で開催しています。

2022年度も様々なイベントを企画しています

- ①CC養成講習8月開講コース募集中。通学とオンライン開催で、それぞれ、水曜コース、土曜コース、日曜コースの計6コースを募集しています。

- ②8月CC養成講習にむけた「無料説明会」を開催しています。詳しくは神奈川支部のHPをご覧くださいと思います。

https://jaico-kanagawa.jp/learning/career/career_muryo/



- ③キャリアコンサルタントの資格をお持ちの方は、下記にもご参加ください。

時間：9：30～12：30 オンライン開催

- ・CC養成講習修了者のつどい・交流会・・・9/17（土）、1/21（土）
- ・CC実践会・・・6/25（土）、8/20（土）、10/22（土）、12/17（土）、2/18（土）

<https://jaico-kanagawa.jp/learning/career/syutokugo/>



（注）本文中の「キャリアカウンセラー」は国家資格「キャリアコンサルタント」とほぼ同義で使用しております。

趣味しゅみ everybody♪ エグリパディ



① 鵜飼 柔美さん

(神奈川支部)

ちょうど去年の今頃から「船釣り」を始めました。静かなところで自分と向き合いたいと思って釣り堀に行ったことを、釣りに興味があるものと勘違いした義兄が誘ってくれたのがきっかけです。「ひとりエンカウンターグループ」のはずが船から釣り糸を垂らし海中にいる魚と対話する時間になりました。その日の潮や水温によって変わる相手(魚)の気分(活性)に思いを馳せてじっくり待つ時間は、カウンセリング中にクライアントさんの沈黙を共有しているのと似ています。沈黙の後、相手から反応があり糸を手繰って海面で輝く相手と出会えたときの感動は何とも言えません。

写真は最も根気よく粘って出会えた44cmのアジです。



かもめ便り 発行方法についての お知らせ

2020年7月号かもめ便りにおきまして、新型コロナウイルスの影響により当支部の業務運営を抜本的に見直す必要に迫られ、2020年9月号より2021年3月号まで、かもめ便りの印刷と発送を一時的に取りやめ、電子版のみの発行とさせていただきます。緊急告知させていたいただきました。

コロナ禍が始まって2年が経過した現状におきまして、未だに影響が続いていることから、各種講座のオンライン化対応、事務のデジタル化・ペーパーレス化に取組んでおり、支部業務運営の効率化・合理化を更に進めてまいります。

そのため、今後のかもめ便り発行方法につきまして、正式に電子版のみによる発行とさせていただきますこととなりました。

本来であれば、2021年3月号かもめ便りにて、会員の皆さまにお知らせすべき内容でしたが、ご連絡が遅くなりましたことを深くお詫び申し上げます。何卒、ご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

かもめ便り 表紙への掲載

絶賛募集中!

会員部ではかもめ便り表紙への掲載希望者を募集しています。あなたも子ども達の頃に憧れた姿に变身してみませんか。応募方法はHP、LINE等でご案内いたします。

今号掲載の3名の皆さんからは次のようなコメントをいただきました。

● 鈴木 雅之さん

子供の頃、家に車がありませんでした。だからタクシートの運転手になれば自分が運転してどこでも行けると思っていたんです。

今年、副業でコーチ業を開業しました。運転手にはなりませんでしたが現在もコーチとしてクライアントに寄り添い一緒に歩走をしている事を考えると、何か子供の頃の夢にも通じるものがあるのかなと感じています。

● 伊藤 千珠代さん

兼業農家に生まれ、父が自営業、祖母や母が農業と家族が忙しい幼少期でした。そのような中、田圃の畔で歌ったり、旅行先で歌ったりすると家族が喜んでくれました。

● 永江 由美さん

私が幼少期の頃はまだ飛行機は非日常の移動手段でした。特別な乗り物での旅行で出会った親切的な女性はまさに「キラキラ」に見えました。初めての「ワクワク・ドキドキ・キラキラ」が憧れのきっかけかなと今思います☆

CONTENTS

- 2 「コロナ社会におけるカウンセラーの対応と課題」カウンセラー座談会
大角浩樹さん／伊藤美季さん／金城匠さん
- 5 運営幹部紹介 養成講座部 部長 牛丸 尚美
講師・カウンセラー推薦委員 委員長 吳 葉子
- 6 事業部紹介第5回「キャリア・カウンセラー部」
- 7 趣味しゅみエヴリバディ 第1回 鶴飼 柔美さん（神奈川支部）／
かもめ便り発行方法についてのお知らせ／かもめ便り表紙への掲載絶賛募集中！
- 8 神奈川支部特別講演会・支部総会のお知らせ／編集後記

かもめ便り

2022年5月
第51号（通算第97号）

発行日：2022年5月20日発行
発行：一般社団法人日本産業カウンセラー協会 神奈川支部
〒231-0062 横浜市中区桜木町3丁目8横浜塩業ビル6F
TEL：045（264）9521 FAX：045（264）9013
E-mail：kng-zensy@ counselor.jp URL：https://jaico-kanagawa.jp
企画・編集：会員部支部報グループ
取材編集協力：株式会社協進印刷

神奈川支部

特別講演会・支部総会のお知らせ

今年も下記の通り、特別講演会・支部総会を開催いたします。なお、特別講演会につきましては、オンライン併用のハイブリッド方式いたしました。詳細については、神奈川支部 HP を参照してください。皆さまのご参加をお待ちしております。

※なお、交流会については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、本年につきましても中止とさせていただきます。

日時 2022年6月26日(日)13:30～16:45

場所 横浜市社会福祉センター

特別講演会

13:30～15:00

講師：川野 泰周先生

（精神科医、臨済宗建長寺派林香寺住職）

テーマ：マインドフルネスによるセルフケアと
他者援助の手法

支部総会

15:15～16:45

編集後記

コロナ禍の世の中になり、もう2年が経過しました。今だ、新型コロナウイルス感染症の収束が見えませんが、中国のように今も「ゼロコロナ」という徹底した対策を行っている国もあります。一方、日本ではオンライン化などによる生活様式の変化を受けて、今後どのようにコロナとの共生を図っていくか模索している最中にあるのではないかと思います。

今号では、各分野でカウンセラーとして活躍中の3名の方にご登場いただき、「Withコロナ」社会でオンラインカウンセリングも増えてきているなか、実際に相談業務で体験されたことや今後の課題について語っていただく座談会を企画しました。この座談会を通じて、お一人お一人が今後のカウンセラー像について考えるきっかけとなれば幸いです。ぜひご覧いただけたらと思います。

また、今年度のかもめ便りは、会員参加型の紙面づくりにも取り組んでまいります。今号のような座談会を通じての会員からの声をお伝えするとともに、会員の方の素顔を紹介するような企画を2つ立ち上げました。一つは、会員の方の顔写真をベースに子供のころ、憧れた仕事や遊びを漫画チックな形にして表紙に登場していただく企画です。もう一つは、「趣味しゅみエヴリバディ」です。趣味を通じて、会員の方の素顔を紹介する企画です。

最後に、今回の企画にご協力いただいた会員の皆さまにこの場を借りて深く御礼申し上げます。

（青木幸司）